

## 第147回 BA エグゼクティブサロン概要 (11/18)

テーマ：「欲望の資本主義」が示す「無形資産」時代のパラドックス (仮)

講師：丸山 俊一 (まるやま しゅんいち)

NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー

### 卓話概要：

「やめられない、止まらない、欲望が欲望を生む、欲望の資本主義。」

2016年5月に放送した特集番組、以来シリーズ化された「欲望の資本主義」は、欲望をキーワードに、民主主義、歴史、哲学などのテーマへも幅広く展開してきました。

そもそも、人は何を欲しいのか？自らの欲望を自覚できているのか？欲望という、それが無ければ人も社会も成り立たず、それに過剰に支配されても社会が破壊されてしまう、実に厄介な存在と付き合うことは面倒ではありますが、そこに人の面白さと哀しさが背中合わせになっているように思います。

コロナ以前からの「欲望」を切り口とする資本主義への問いを踏まえ、レジリエンスへの要請とイノベーションへの渴望とに引き裂かれる現代社会の中、脱成長か？成長か？議論は錯綜し、本来二項対立とすべきではない論点も生まれ、人々の意識の分断、対話の難しさも際立ってきています。

一つのキーワードとして「無形資産」を取り上げ、今までの企画の中から見えてきた現代経済、社会のねじれについて、この機会にみなさんと一緒に考えたいと思います。

### 略歴：

1962年長野県生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業後、NHK入局。「英語でしゃべらナイト」「爆笑問題のニッポンの教養」「仕事ハッケン伝」「ニッポン戦後サブカルチャー史」「ニッポンのジレンマ」「地球タクシー」「人間ってなんだ？超AI入門」ほか数多くの異色教養エンターテインメント、ドキュメントを企画開発、制作統括。

著書『14歳からの個人主義』『14歳からの資本主義』『すべての仕事は「肯定」から始まる』(大和書房)『結論は出さなくていい』(光文社新書)、制作班との共著に『欲望の資本主義1～5』(東洋経済新報社)『欲望の民主主義』(幻冬舎新書)『マルクス・ガブリエル 欲望の時代を哲学する／自由と闘争のパラドックスを越えて／危機の時代を語る／新時代に生きる「道徳哲学」』『AI以後～変貌するテクノロジーの危機と希望』(NHK 出版新書)ほか。

現在 NHK エンタープライズ コンテンツ開発部エグゼクティブ・プロデューサー／東京藝術大学客員教授／早稲田大学非常勤講師。



(以上)